

第5回女性医師の生き方セミナーを開催

このほど、第5回女性医師の生き方セミナーが3月21日（土）に金沢大学附属病院女性医師メンター、金沢大学附属病院、金沢大学男女共同参画キャリアデザインラボラトリー、石川県女性医師支援センター、北陸地域における女性研究者ネットワーク（HWRN）の主催により、金大病院CPDセンターを会場として開催されました。

女性医師メンターは、女性医師の身近なところで相談に応じ助言を行う先輩医師のことで、附属病院では、4人の医師が石川県からの委嘱を受け、女性医師メンターとして活動しています。

このセミナーは、多くの悩みを抱えながら日々の診療に従事している女性医師やこれからの世代を担う女医学生を中心に、医師としての生き方を考える機会の提供を目的としており、石川県内医療機関を中心に勤務医及び大学院生など男性13名を含む約40名が参加しました。

セミナーは、並木金沢大学附属病院院長及び上田博石川県医師会副会長の開会あいさつの後、第1部の講演会では、元九州大学附属病院院長（国立大学初の女性病院長）、理事・副学長で現福岡学園理事長の水田祥代（すいたさちよ）先生から「輝いて、美しく 一医の神アスクレピオスの娘たちへのメッセージ」と題してご講演いただきました。

また、第2部の水田先生を囲んでのディスカッションでは、和やかな雰囲気の中、女性医師のキャリアアップや仕事と育児の両立、勤務への相談など有意義な意見交換が行われました。

参加者からは、「まだまだ意識の変革が必要だと感じさせられた。」、「熱いメッセージがこめられた刺激多い内容でした。」、「女性医師の社会や仕事場でのあり方を見直したり考える良い機会になった。」、「学生に対するキャリア教育の重要性を知ることができた。」など好評をいただき、盛会のうちに終了しました。



あいさつする並木病院長と
上田博県医師会副会長



講演する水田祥代福岡学園理事長



第2部 水田先生を囲んで和やかに意見交換する参加者